商船三井グループ

安全ビジョン
Safety Action 1.0

2024年1月

© 2023 Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.

Leading in Safety

Protecting People, Property and the Environment

代表取締役社長
橋本　剛

商船三井グループは、海運業を中心に様々な社会インフラ事業を展開していきます。
安全は、私たちの絶対的な使命であり、そして新たな挑戦の根幹になると考えています。
こうした思いから、今回、私たちの安全に関するあるべき姿をまとめた
「商船三井グループ 安全ビジョン」を策定しました。

商船三井グループは、５つの「サステナビリティ課題」を掲げ、
経営計画「BLUE ACTION 2035」の一部として行動計画を策定しています。
安全ビジョンは、サステナビリティ課題の一つ「Safety & Value」を支え、
当社グループの価値観・行動規範である「MOL CHARTS」の
「S（Safety)」を強化する位置付けです。
安全ビジョンの実現に向け、2025年度までの主な取り組みとなる
アクションプラン（Safety Action 1.0）を策定しており、
安全の土台を強固なものにしていきます。

私たち商船三井グループは、貴重な人々・財産・環境を守り、信頼され続けるため、
社会インフラ事業の責任ある担い手として、
「安全」なオペレーションで人々の毎日の “あたりまえ” を支え続けます。

常務執行役員
チーフ・セーフティ・
クオリティ・オフィサー
谷本　光央

© 2023 Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.

目次

Section 1　安全ビジョンの策定にあたって

Section 2　安全ビジョンの枠組みと全体像

Section 3　安全目標と我々のあるべき姿

Section 4　アクションプラン

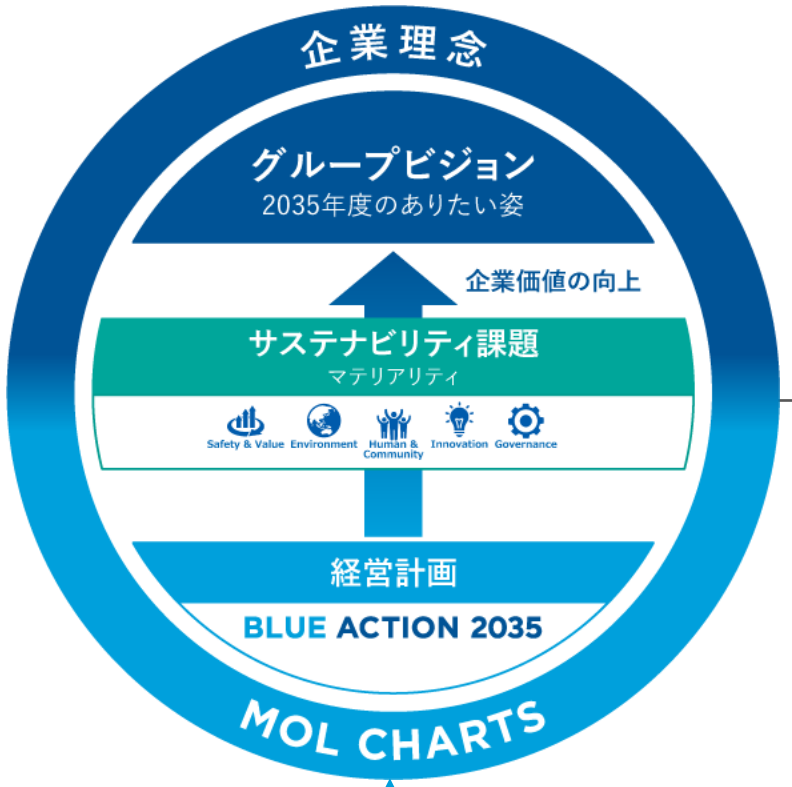
Section 5　KPI

© 2023 Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.

安全ビジョンの策定にあたって

サステナビリティ経営の実現に向けた「安全ビジョン」の位置付け

- 商船三井グループは、5つの「サステナビリティ課題」を特定し、経営計画「BLUE ACTION 2035」の一部として、それらの課題に対する具体的な行動計画「MOL Sustainability Plan (MSP)」を策定しています。
- 安全ビジョンは、サステナビリティ課題の一つ「Safety & Value」を支え、価値観・行動規範である「MOL CHARTS」の「S（Safety)」を強化するものです。



Safety & Value
安全輸送・社会インフラ事業を通じた付加価値の提供

Environment
海洋・地球環境の保全

Human & Community
人の活躍と地域社会の発展

Innovation
海の技術を進化させるイノベーション

Governance
事業を支える ガバナンス・コンプライアンス

安全ビジョン
貴重な人々・環境・財産を守り、信頼され続けるため、私たちは社会インフラ事業の責任ある担い手として、「安全」なオペレーションで人々の毎日の“あたりまえ”を支え続けます

環境ビジョン 2.2

Human Capital ビジョン

DX ビジョン

コーポレートガバナンス基本三原則

© 2023 Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.

安全ビジョンの策定にあたって

事業領域の拡大と安全に関する取り組みの強化

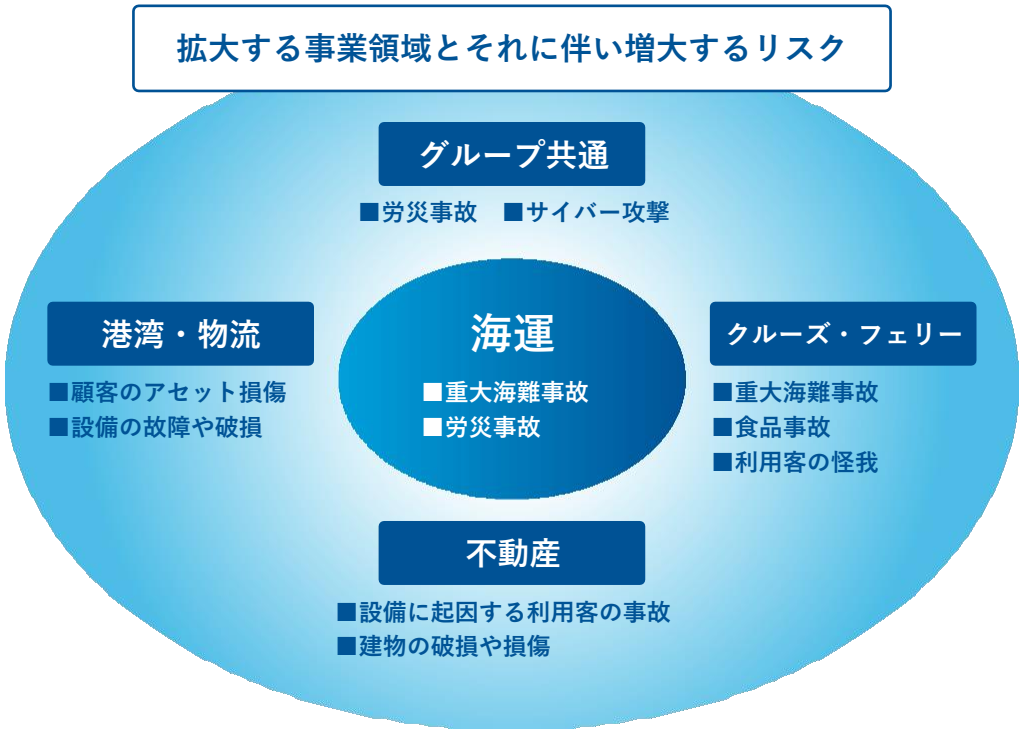
- 商船三井グループは海運業を中心に様々な社会インフラ事業を展開、事業領域を拡大し、安定的なサービスの提供及び新たな成長を目指していきますが、安全はその根幹です。
- 本ビジョンは、商船三井グループにおける安全のあるべき姿を示すものであり、本ビジョンのもと、私たちは安全の取り組みをさらに強化していきます。

1. 事業ポートフォリオ変革による非海運の事業領域の拡大

（アセット比率）	2022年度 見込み	2035年度 計画
海運	75%	60%
非海運 クルーズ・フェリー、港湾・物流、不動産	25%	40%

*商船三井グループ経営計画 BLUE ACTION 2035からの抜粋

2. 拡大する事業領域に応じたリスク管理の強化・一体化



© 2023 Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.

安全ビジョンの枠組みと全体像

全体像とSafety Action 1.0

■ 安全ビジョンは、安全目標・我々のあるべき姿を示す屋根部分と、
アクションを示す柱・基礎部分で構成されます。

安全目標
不変の究極的な目標

Leading in Safety
Protecting People, Property and the Environment
貴重な人々・財産・環境を守り、信頼され続けるため、

▶ KPI①

我々のあるべき姿
目標を達成して
いるときの状態

私たちは社会インフラ事業の責任ある担い手として、
「安全」なオペレーションで人々の毎日の "あたりまえ" を支え続けます

人（役員・従業員）	**リスクに気づき安全に行動している**
仕事（業務環境・プロセス）	**リスクが適切にコントロールされている**
組織（体制・機能）	**先手かつ柔軟にリスク・危機に対応できている**

▶ KPI②

安全施策
我々のあるべき姿を
実現するための取り組み

安全を支える人財活躍の促進

テクノロジーを軸とした安全インフラの整備

リスク・危機の先制的な管理

安全基盤
施策を推進するための
共通的な取り組み

相互啓発を通じた安全意識改革

あるべき組織体制・業務プロセスの追求

▶ **Safety Action 1.0**

© 2023 Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.

安全目標と我々のあるべき姿

安全目標

不変の究極的な目標

Leading in Safety

Protecting People, Property and the Environment
貴重な人々・財産・環境を守り、信頼され続ける。

**商船三井グループの安全とは、
我々の社会インフラ事業に関わる
全ての人々・財産・環境を守り、
信頼され続けることです。
安全は、私たちの絶対的な使命です。**

Leading in Safetyに込めた思い

商船三井グループの各社が、それぞれの事業分野において「世界最高水準の安全品質」を目指し、
その業界の安全水準をけん引していくという思いを込めています。
加えて、現場だけではなく、オフィスで働く役職員を含めた各個人が受け身とならず
安全をリードしていくという意気込みも込めています。
本キャッチフレーズのもと、全役職員が安全意識を今まで以上に高く持つことを目指します。

© 2023 Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.

安全目標と我々のあるべき姿

守るべき4つの対象と私たちがなすべきこと

■ 事故予防やリスクの先行検知・回避を通じて、「人々」・「財産」・「環境」を守り、「信頼」され続けることを目指します。万が一事故などの事象が発生した場合には、迅速な初期対応・間接的損害の軽減・再発防止といった危機対応を行います。

守るべき対象

信頼 Trust

人々 People

財産 Property

環境 Environment

取り組みの主眼

	事故予防、リスク検知・回避	危機対応能力の維持・向上	危機対応
内部要因 （コミュニケーション不足、アセスメント不足 など）	• 最適な作業・職場環境の整備 • コミュニケーションの手段・フローの確立 • 安全意識の醸成　など		• 迅速な初期対応 • 損害拡大の抑制 • 間接的損害の軽減 • 原因調査と再発防止
外部要因 （異常気象、紛争 など）	• 安全支援・管理体制の構築 • 情報収集システムの活用 など		

© 2023 Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.

目標を達成しているときの状態

私たちは社会インフラ事業の責任ある担い手として、「安全」なオペレーションで人々の毎日の "あたりまえ" を支え続けます

世界最高水準の安全品質を目指す上でのハードル	目標を達成しているときの状態		
• 個人差のある**安全意識** • 心身の負荷軽減に改善余地のある**職場環境**（船内環境など）	**人** 役員・従業員	**リスクに気づき安全に行動している**	• 全員が安全に対する当事者意識を持ち、かつ、率先して行動できる • 職場環境改善に関する計画を策定し、導入を開始している
• アナログな手法が多く、テクノロジーの積極活用が求められる**安全対策** • リスク低減効果が飽和している**アセスメント活動**	**仕事** 業務環境・プロセス	**リスクが適切にコントロールされている**	• 主な先進テクノロジーを導入し、残存リスクを低減している • 計画業務（新規案件の締結など）の安全への影響度が明確化・理解されている
• 会社・事業毎に分離した**安全・リスク管理** • 原因特定の更なる深堀りが必要な**事故調査** • 異常気象や地政学などのリスクが先鋭化し、重要性の増している**危機管理・対応**	**組織** 体制・機能	**先手かつ柔軟にリスク・危機に対応できている**	• 事業横断での安全管理体制を構築している • 事故調査体制を整備し、計画業務も含めた事故予防サイクルを回せている • 主なリスク対応シナリオを整備し、危機対応を評価する仕組みの構築を完了している

© 2023 Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.

アクションプラン（Safety Action 1.0）
安全施策と安全基盤

2025年までの主なアクションプラン

安全施策 我々のあるべき姿を実現するための取り組み

安全を支える人財活躍の促進
- **スキル体系**の整備・アップデート
- **作業・職場環境**の改善
- **コミュニケーション**を支える情報共有基盤や通信環境の整備

テクノロジーを軸とした安全インフラの整備
- 安全なオペレーションを支える**新技術**の導入
- **業務のデジタル化**
- **サイバーセキュリティ対策**の強化

リスク・危機の先制的な管理
- **事故予防PDCA**の高度化
- **安全支援体制**の強化
- 有事に備えた**情報収集･シナリオプランニング**

安全基盤 施策を推進するための共通的な取り組み

相互啓発を通じた安全意識改革	パルスサーベイを通じた**安全意識の見える化・自分事化**
	安全啓発活動の拡充
あるべき組織体制・業務プロセスの追求	**安全推進・相互補完**を目的とした**組織改編**
	組織横断的な検査体制の検討

© 2023 Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.

KPI

■ 現行の４ゼロ（安全運航KPI）に加えて、アクションプランの成果を測るため、
安全目標に対するKPI・我々のあるべき姿に対するKPIを策定しました。

KPI①

①安全目標（貴重な人々・財産・環境を守る）に対するKPI

商船三井グループ共通KPI

- 1)労災死亡事故件数　：0件
- 2)重大事故件数(*1)　：0件

← 先行指標
1)休業災害度数率(LTIF*1)

安全運航KPI ＝ 4ゼロ

- 1)重大海難事故件数　：0件
- 2)油濁による海洋汚染件数　：0件
- 3)労災死亡事故件数　：0件
- 4)重大貨物事故件数　：0件

← 先行指標 ＝ SPI*2
1)休業災害度数率(LTIF)
2)運航停止平均時間
3)運航停止発生率

KPI②

②我々のあるべき姿に対するKPIの考え方、アプローチ：2025年度末まで

人 役員・従業員	• 全員が安全に対する当事者意識を持ち、かつ、率先して行動できる • 職場環境改善に関する計画を策定し、導入を開始している	▶	• **安全認知指標：　95%** • **環境改善の試運用：　3件以上** **（例：船内の居住区環境改善など）**
仕事 業務環境・プロセス	• 主な先進テクノロジーを導入し、残存リスクを低減している • 計画業務（新規案件の締結など）の安全への影響度が明確化・理解されている	▶	• **先進テクノロジーの試運用：10件以上** **（例：機器の故障予兆診断システムなど）** • **システムを活用したリスク可視化手法の確立** • **可視化したリスクを関係部門に展開し、対応協議をしている**
組織 体制・機能	• 事業横断での安全管理体制を構築している • 事故調査体制を整備し、計画業務も含めた事故予防サイクルを回せている • 主なリスク対応シナリオを整備し、危機対応を評価する仕組みの構築を完了している	▶	• **組織再編、グループ横断危機管理体制の構築完了** • **事前検査・事故調査体制の拡充完了** • **想定されるハイリスク事案への対応シナリオ立案完了** • **危機対応評価指標の整備完了**

*1 商船三井グループにおける事業セグメント毎に定義、設定する。*2 Safety Performance Indicator。現行の目標（2025年度/2030年度/2035年度）は、1)0.5以下/0.4以下/0.3以下、2)24以下/22以下/20以下、3)1.0以下/0.8以下/0.6以下。

© 2023 Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.

MOL
商船三井